

学校名	大磯町立国府小学校
-----	-----------

1. 調査結果の分析で明らかになったこと

	習得の状況が良好であると判断できるもの	指導の改善・充実が求められるもの
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・物語文における文章記述から登場人物の相互関係について、描写を基に捉えることができる。 ・漢字に書き直す問題の正答率が平均より低い。 	漢字を文や文章の中で使うことに課題が見られるため、文や文章で使おうとする習慣を身に付けられるように指導していきたい。
算数	<ul style="list-style-type: none"> ・かけ算の筆算等、前学年までに学習した基本的な計算問題を解く力は良好であると考えられる。 ・数字を分数で表す、果汁の割合について正しいものを選ぶ問題に課題があった。 	割合の学習において、式と答えを完答することに課題が見られるため、数量に関わる生活体験を豊かにし、日常の具体的な場面に対応して捉えさせるよう指導していきたい。
理科	<ul style="list-style-type: none"> ・季節による天気と気温の変化を基に、問題に対するまとめを選ぶことができる。 ・自分や他者の気付きを基に分析して、解釈し、問題を見いだすところに課題があった。 	自然の事物・現象に働きかけて得た事実について分析し問題を見いだすことに課題が見られるため、他者と事実を比較し差異点や共通点を捉えられるように指導していきたい。

質問紙	<ul style="list-style-type: none"> ・「授業でICT機器を使用している」と回答した児童が、全国・神奈川県より高い。 ・「家で学校からの課題で分からないことがあったとき、どのようにしていますか」の問いに、「先生に聞く」と回答した児童の割合が全国・神奈川県より高い。 ・「自分にはよいところがあると思う。」と回答した児童が、全国・神奈川県より低い。 ・「新聞を読んでいる」と回答した児童が全国・神奈川県より低い。「ほぼ毎日」はゼロだった。 ・「国語の勉強は好きですか」「算数の勉強は好きですか」の割合が全国・神奈川県より低い。
-----	---

2. 学校運営及び授業の充実に向けた取り組み

<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに基本的な生活習慣を身に付けさせ、道徳教育、人権教育の充実に向けていく。 ・自己肯定感を高めるために、自分の考えを表す機会を設定したり、その考えや行動が他者に受け入れられたりするような学級づくりに努める。 ・子ども達の学習意欲が高まる課題を設定し、自分で課題解決ができた達成感を得ることや、学んだことを生活に生かせることを実感できるような授業づくりを行う。 ・読書に慣れ親しむ機会を設定したり、子どもが興味をもちそうな新聞を教材として扱ったりするなど、言語活動の充実を図る。
--

3. 家庭（地域）へのお知らせ※取り組んでいただきたい内容や知っておいてほしい内容等

<p>知・徳・体の調和がとれ、心身ともに健やかで豊かな人間性を育むためには、学校と家庭、地域が共に手を携えて考えていくことが何よりも大切だと考えています。今回、国や県の平均より低かった「自己肯定感」を高めるための取り組みや、子どもが新聞を読む機会を増やすことはぜひ家庭とも協力して取り組みたい課題です。今後も教職員一同力を合わせて教育活動に取り組んでまいりますので、保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をお願いいたします。</p>
--